

# 実海域性能の向上を目指して ~OCTARVIAの活用~

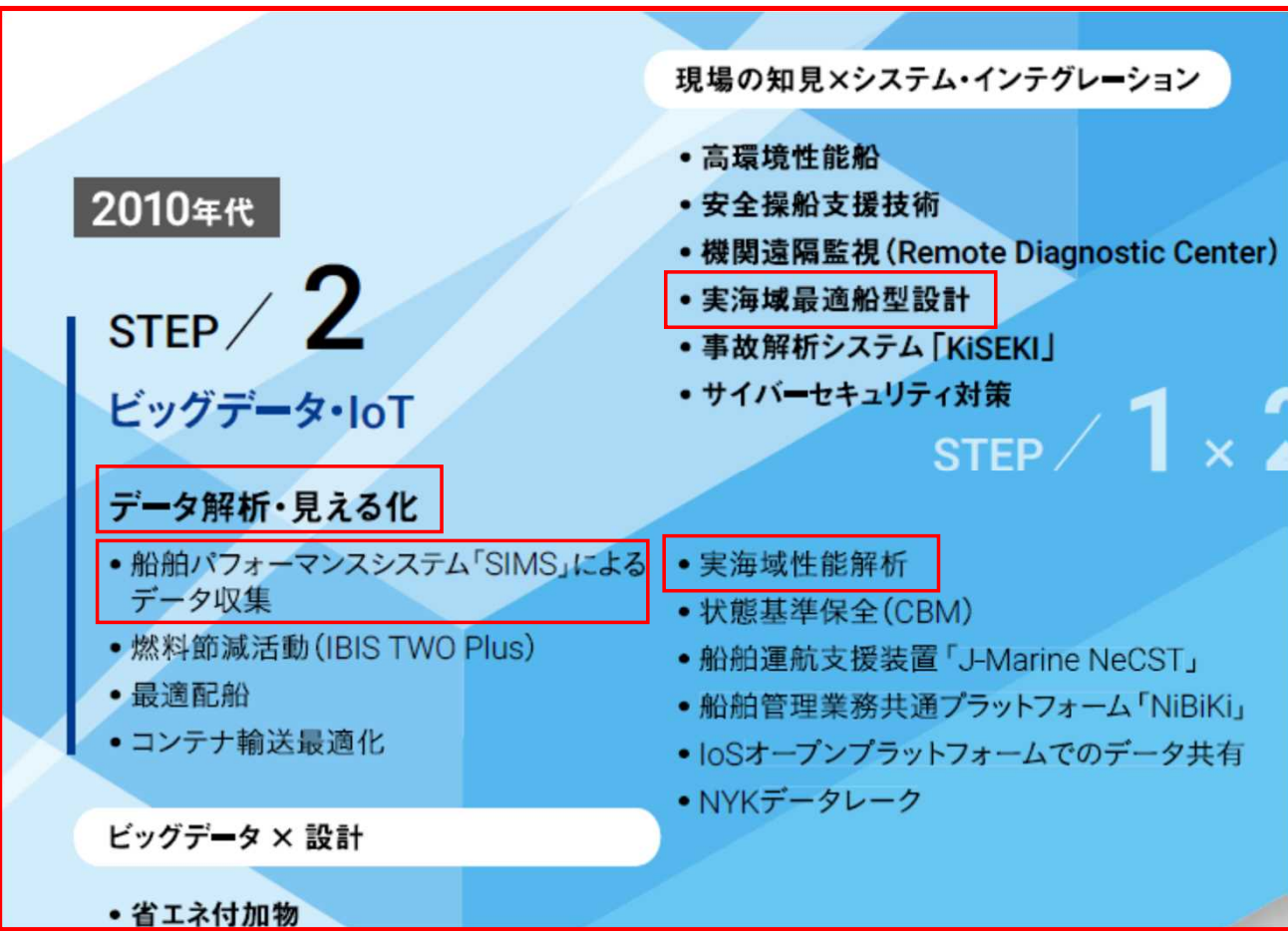
2020年12月9日

株式会社MTI 船舶物流技術グループ  
佐藤 秀彦

# Digitalization and Greenをキーワードに新たな価値創出



# 新たな価値創造～実海域性能

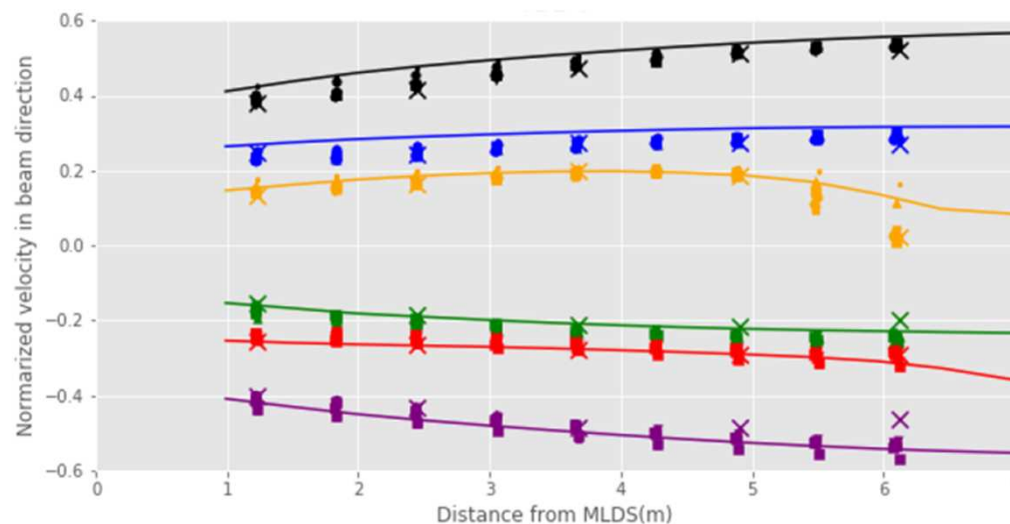
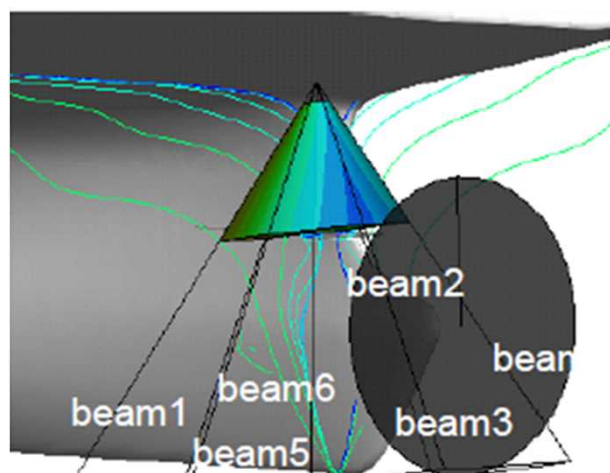


## 実海域性能の把握と設計へのフィードバック

### ■ 船尾流場計測

実際の船で船尾の水の流れを直接計測する

✓ JMU建造14,000TEUコンテナ船で船尾流場の計測を実施



実船スケール・実海域での性能向上へ

# 新造船実海域性能保証

## 新造船の建造契約における実海域性能保証導入へ

2020年09月25日

### ジャパン マリンユナイテッドと基本合意

当社とジャパン マリンユナイテッド株式会社(本社：神奈川県横浜市西区、代表取締役社長:千葉 光太郎 以下JMU)は、新造船の建造契約における、実海域における推進性能（注1）を保証する条項を導入することに基本合意しました。

### 背景

これまで造船契約においては、波風のない平穏な海象下における船速と馬力の関係から保証速力を定義し、建造中に行われる海上公試運転にて相互確認を行うというのが一般的でした。一方、就航後の営業航海においては、波風のない平穏な航海は稀で荒天海象に遭遇することも度々あり、実際の気象海象下における推進性能の良い船を見極めて調達することは海運会社にとって重要な課題でした。

昨今、海上における衛星通信の改善、IoT技術の進展に伴い、様々な運航データを効率良く収集することが可能となっており、国際海運における厳しい競争の中、一層の差別化を実海域性能に求める当社と、それを差別化の源泉としたいJMUの意向が一致し、造船契約における実海域性能保証条項の導入に至りました。（後略）

出所：日本郵船ニュースリリース

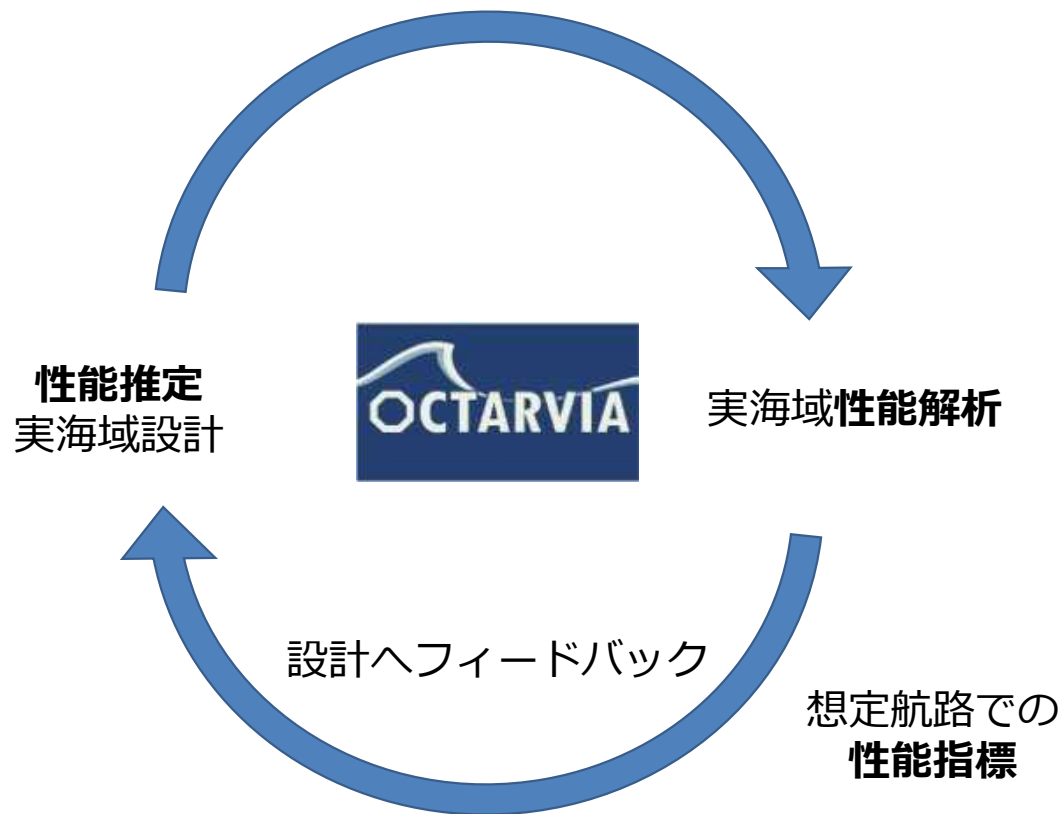
# 新造船実海域性能保証



出所：日本郵船ニュースリリース



# 新造船実海域性能保証



共通の評価手法（ものさし）を整備 **協調領域**  
共通のものさしでより良い船を競う **競争領域**

## 今後OCTARVIAに期待すること

- 共通言語化 → 国際基準化
- ワンストップ化 → クラウド上でのサービス提供
- 最適船型設計
  - 実務で有用なツールへ → 細かな設計改良も評価できる推定精度  
実海域バウ形状  
実海域Lines改良  
省エネ船体付加物
- 使えるツールへ → 実際に使い込んで改善を積み重ねる



**ご清聴ありがとうございました。**